

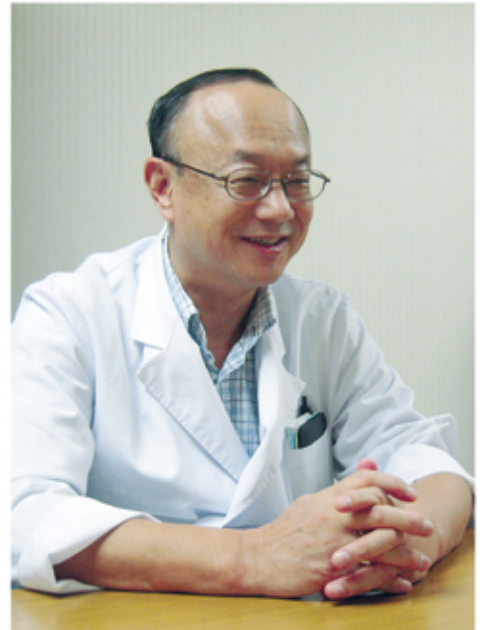
クォーターリー  
(季刊)

# まちだ市民病院

Dr's message

## 水野良児 小児外科部長にきく

### 小児の手術 60%は鼠径ヘルニア



— 小児外科というと小児(中学生まで)の手術が多い?

水野 ええ。手術のうち60%は先天性の脱腸(鼠径ヘルニア)です。この病気は手術で直ります。

— 小さいお子さんの手術は成人に比べて難しいのでしょうか。

水野 手術の場合、事前に採血、点滴の必要がありませんが、まず大人のようにポンと入らない。血管が細い上に、じっとしていないから人手もかかります。

— 小さな赤ちゃんのケースもありますね。

水野 昔750グラムの赤ちゃんを手術したことがあります。当院での手術はすべてうまくいっています。

— 子どものころ、まわりでは虫ずい炎(盲腸)が目につきましたか。

水野 10才前後のお子さん

に多いですね。炎症が軽いのは簡単ですが、おなかの中にウミがたまっているようなケースでは大変です。いまは抗生剤でウミを小さくして、2〜3ヵ月後に手術をする方法をとっています。

— そこまで気がつかないことがあるのですか。

水野 吐き気がするのですが、比較的元気なので放置しがちです。

— 小児は決して大人のミニチュアではないとよく言われます。

水野 そうです。解剖学的にはいっしょですが、生理学的には小児特有のものがあります。大人とはちがう知識が必要で、別のトレーニングをしなければなりません。

— 当院にはNICUがあり、新生児科があります。新生児の手術は多いですか。

水野 医学的にいうと新生

児は興味深い対象です。ごく小さいし、いわば人間のはじまりですから。注意しなければいけないのは低体温にならないようにすること。(手術のときは)部屋をサウナのように暖かくしますから終わったときは汗だくで、2キロ位やめますね。

— 小さい未熟児の命がかげで助かるわけですね。

水野 新生児科で術前、術後の管理をしていただき、全国的には10%程度死亡率が上がったといわれています。新生児は悪いところを断れば治療能力が高いのでぐんぐんよくなります。やり甲斐があります。

— 小児外科を志した理由は?

水野 もう30年以上前になりますが、外科の各部署をまわって勉強していたころ、小児外科の先輩に学内の書店につれていかれ、2巻の本を7万円で買ってもらって、「これで勉強したまえ」と。アメリカの英語本で、2冊で5キロくらいありましたが、ポロポロになるまで読みました。この先輩のことは尊敬していましたし、あの瞬間ですね。「この人の期待にこたえよう」と思ったのは。

— 最近の親御さんについて思うことはありますか。

水野 情報があふれているのですが、「こんな病気、きいたことない」とか、手

術で直るのに「こんな小さい子供に手術をするのか」とか。かんじんの情報が集まっていますね。

— 手術への偏見があるのですね。

水野 昔の話ですが、おじいさんが4才くらいのヘルニアの女兒をつれてきて、「手術で治しましょう」というと怒って帰られたことがありました。麻酔を心配する親御さんも多いですが、当院では麻酔科もしっかりしていますし、トラブルは皆無です。安心してほしいと思います。

— 先生のエッセイを読みました。漢文に詳しいですね。

水野 高校時代、友人に誘われて、司馬遷の「史記列伝」などを読みました。本当の趣味は飛行機、艦船などの先端技術を知ることが好きです。



町田市市民病院  
みずの りょうじ  
水野 良児 小児外科部長  
Profile  
三重県津高校から昭和53年慈恵医大卒、平成13年から町田市市民病院勤務。小児外科部長のほか学術部長。診療支援室長を兼務している。

四季折々  
\* しきおりおり \*

▼ドイツが東西に分断されていたころ。ひとりで西ベルリンの市街を歩いていると何回か「My I Help You」の声がかかった。大きな荷物を持って、どこか心細げだったのだろう▼英語で話しかけてくれる気づかい。ベルリン市民の心根に胸を熱くした。日本に同じような言葉があるだろうか。「私でお役に立つことがあったらいつでも下さい」といえるか。日本では日常のあいさつにはなっていない言葉である▼病院の中はあいさつが活発だと思ふ。「おはようございます」にはじまり、見知らぬ同士でも声をかけ合うことが多い。「大丈夫ですか」「ありがとう」「お大事に」という会話もよく耳にする▼夕暮れ「お疲れさま」とあいさつしてすれちがう。ホッととした安堵感が共有できて好きな言葉だ。あいさつはいくら放出しても枯渇することはない。惜しみなく消費したい。まわりはそれで明るくなる。人のみが持つすばらしい資源である (四方)

2011年度第1回  
「町田市病院事業運営評価委員会」開催

2011年度第1回の町田市病院事業運営評価委員会が7月6日、開催されました。当院から2010年度決算見込、「中期経営計画」の2010年度進捗状況、新「中期経営計画」の具体的取組などについて、報告しました。

委員からは、病院と診療所間の紹介や逆紹介による医療連携、患者サポートセンターの広報の充実、立体駐車場の収支状況、災害時の医師会会員医師と当院の協力体制などについて、ご意見ご提案をいただきました。

ご出席の委員のみならず、赤星透(北里大学病院副院長)、川村益彦(町田市医師会会長)、木藤郎(旭町2丁目町内会長)、増岡和子(病院ボランティア山内芳(税理士))

50首順、敬称略

市民公開講座を開催します

今年も市民公開講座を開催します。開催日:11月12日(土)  
 テーマ「みんなで治す!糖尿病」 講演者:内科 伊藤 聡 院長  
 近年、幅広い年代に広がっている糖尿病の知識と糖尿病との正しい付き合い方を当院の医師・看護師・コメディカルで編成されている糖尿病チームが講演を行います。  
 糖尿病の話題に興味のある方は、是非ご参加下さい。  
 お申し込みは町田市イベントダイヤルへ TEL724-5656  
 受付期間:10月11日正午~11月5日(先着順、定員70名)

患者満足度アンケート報告

当院の医療サービスに関して、患者さまの評価や満足度を把握するために5月にアンケート調査を実施しました。

前回の調査結果に比べて全項目の平均ポイントは総じて上昇しましたが、外来の待ち時間の長さの問題など依然として改善が必要な項目もあります。

【全体評価の高かった項目】

|                               |      |
|-------------------------------|------|
| 職員は清潔で適切な身だしなみをしている           | 4.46 |
| 医師は優しく対応してくれる                 | 4.45 |
| 看護師は優しく対応してくれる                | 4.41 |
| 院内の清掃は行き届いている                 | 4.38 |
| 検査を担当している人(医師、看護師以外)はとても親切である | 4.33 |

【全体評価の低かった項目】

|                               |      |
|-------------------------------|------|
| 待ち時間はあまり苦痛とは感じない              | 3.08 |
| 親戚や知人に入院の必要がある人がいたら、この病院を薦めたい | 3.83 |
| 薬の効果や危険性についての説明はよく理解できる       | 4.00 |
| 病院内の案内はわかりやすい                 | 4.02 |
| マスクをしている職員は好ましい               | 4.04 |

【全体評価の高かった項目】

|                                  |      |
|----------------------------------|------|
| 職員は清潔で適切な身だしなみをしている              | 4.65 |
| 看護師は笑顔で対応してくれる                   | 4.57 |
| 看護師は患者様の要望を良く聞いてくれる              | 4.55 |
| 医師は優しく対応してくれる                    | 4.55 |
| 医師は検査や処置についての説明を丁寧によくわかるようにしてくれる | 4.50 |

【全体評価の低かった項目】

|  |      |
|--|------|
| 病院食は美味しいと思う                            | 3.47 |
| 人の話し声や足音、器具の音などあまり気にならない               | 3.94 |
| 事前に治療や入院費・生活の流れがわかりやすく説明され安心することができた   | 3.95 |
| 病院の温度換気はちょうど良い                         | 4.05 |
| 費用のことや退院後のことなど心配ある場合、病院内に相談員がいるので安心できる | 4.06 |

○外来アンケート：無記名

で設問29項目と自由意見欄で構成。回収582人分。

●全項目の平均評価は5段階で4.16で前回の3.99を多少上回りました。

●最低評価項目「待ち時間」3.08、最高評価項目「職員の身だしなみ」4.46

●待ち時間の短縮や苦痛の軽減に一層努めていくことが必要です。

また、自由記述欄には、

病院全体での対応や、個別の問題への具体的な対応を求める声が寄せられました。

○入院アンケート：無記名

で設問30項目と自由意見欄で構成。回収330人分。

●全項目の平均評価は5段階で4.33で前回の4.32を多少上回りました。

●最低評価項目「病院食の味」3.47、最高評価項目「職員の身だしなみ」4.65

●来院動機は、「自宅から近い」「公立病院だから」が最も多く、「設備の充実」「診療科目が多い」「医療技術が高い」は前回よりも高得点でした。

今回の調査は多くの患者さまやご家族のご協力でする事ができました。

今回の調査以降、新棟の開設を始めとして患者さまには大変なご迷惑とご不便をおかけしてまいりました。

しかし、今回の平均評価が多少なりとも前を上回り、協力的なご意見を沢山いただきましたこと、当院への期待の大きさを実感することができました。

この調査の結果を今後の医療サービスの向上につなげて行きたいと思っております。

患者図書コーナーの紹介

患者図書コーナーの紹介

南棟9階に図書コーナーがあります。ボランティアの方々へ支援していただきながら、本の整理、環境の整備等を行い、少しずつ図書室としての機能を充実させていきます。

本は寄贈されたものがほとんどで、文庫本、単行本、雑誌、マンガや医学専門書も徐々に増やしています。また、インターネットも有料で利用できるように設置しています。

主に入院患者さまに利用していただいておりますが、外来の待ち時間に利用されている患者さまもいらっしゃいます。

患者図書コーナーは患者さまが病気が治療についての理解を深め、また、病気と向き合う空間となり、癒しの場所となるように努めています。

また図書コーナーは展望もよく、晴れた日には丹沢の山々がとても美しく、そんな景色を見ながら何かほっとする安らぎの場として利用していただきたいと思います。

今後さらさら患者さまの療養生活を支援していくスペースとして、図書コーナーの充実を図っていきたく考えています。

利用時間 9時~20時  
 貸出方法 貸出ノートに図書名とお名前を記入(期限2週間)





## 高校生1日看護体験

### 「看護体験」

皆様のまわりに、将来看護師になりたいという中学生や高校生の方はいますか？

ふだん、病院に受診したり入院することのない人にとっては、看護師はテレビやドラマ、漫画のイメージかもしれません。もし、「将来は看護師になってみたいけど、現実はどうな感じで仕事しているのだろう」と思っている人がいたら、それを体験できる機会があります。

町田市民病院では、10数年前から「中学生・高校生1日看護体験」を行っています。日本看護協会でも募集し、応募された方に、当院でも看護体験してもらっています。



今年も、七月末に3日間で16人の高校生に参加頂きました。その様子を紹介します。

高校生の参加者は、まずは憧れの白衣に着替え、オリエンテーションを受けます。各病棟では看護師が1人ずつ担当し、一緒に患者様



の車いすを押ししたり、髪を洗うお手伝いをしたり、産婦人科では赤ちゃんにミルクをあげたりします。「人の髪の毛を洗ったのははじめて」「赤ちゃんが小さくて可愛かった」「貴重な体験をした」と、はじめての体験に喜びを感じたり、感激されます。また、「看護師さんはやっぱりプロだと思った」「高齢者の方で、耳が遠くてこちらの言葉が全然わからないのに、看護師さんはちょっとした仕事で相手のことがわかるみたいだった」「看護師さんはとても優しくかった」と話し、真剣に看護師という職業を考えている人もいました。看護体験の後には、懇親会を行い、「なんで看護師さんになったんですか」「夜勤は大変ですか」と具体的な質問をされていました。最後に高校生の白衣姿を集合写真に撮り、お渡しします。「記念になる」と喜ばれます。

担当した看護師も「自分が高校生の時の気持ちを思い出した」

「高校生が生懸命で可愛かった」と逆に刺激を受けている様子でした。この看護体験は、看護師を目指す高校生にとっては、自身の進路を決定づける契機にもなっています。また一般的にも、看護師の業務を広く理解していただける機会であるため、有意義な時間となるよう、関連部門と協力して実施しています。



その他にも、看護系大学や専門学校を卒業する予定の看護学生を対象とした「看護学生インターシップ」や、看護師として働いていたけど、一時職を離れていた看護師が、もう一度看護師として働きたいと思った時に利用できる「復職支援研修」などがあり、看護師として働きたい人をサポートしています。

もし看護師になりたい、看護師として働きたいけど不安…と悩んでいる人がいたら、これらの体験や制度を利用するのもいいと思います。町田市民病院看護部にぜひご相談下さい。

感謝

ボランティアのみなさん

「花(美)には人を癒す力があります」

一階ホールの中央にある生け花はいつも来院者をやさしく迎えてくれます。

花を通して心身の健康の役に立ちたいとの願いから、約30年前より続けているボランティアのお花の心づかいです。

お花を見て一瞬足を止める方、きれいですねと声をかけて行く方、花の持つ自然の輝きは、人の心に響きます。

ボランティアの方々は「人に喜んでもらえることは、自分自身の健康につながる」と話して下さっています。

現在、活動は週2回で、7〜8名の方が交代で花を持ち寄って来ていただいています。



「健康生活ネットワーク町だ」の生け花ボランティアの皆様いつもありがとうございます。

# 在宅診療のシステム化を



町田市医師会  
新会長

川村 益彦 さん

Face to Face

ら切り替えの時ももちろんです。現状に比べて、参加する先生方を増やし、互いの連携をよくするとともに、市、市民病院、他の施設などと常時連絡しあい、「全体をシステムティックに」ということです。将来、ITを利用できたらより効果が高まるでしょう。

医師会として取り組みたいのは在宅医療の充実です。日々の往診のほかにも、「在宅療養支援診療所」として18名の先生が活躍されています。しかし一人一人で続けるのは大変です。患者さんによっては深夜緊急の対応が必要となる場合もあります。もっと大勢の参加を求めたいところです。又、お互いの連携が密でないところからの伸びがないと思います。医師会以外でも訪問看護ステーションや介護関係の福祉施設などとの協力も大事です。今回「在宅ケア委員会」を立ち上げて、さらに在宅医療の充実をはかるつもりです。

高齢社会になると在宅で治療する患者さんは増えてきます。膨大な医療費のことを考えても、在宅化は必然の方向だろうと思います。いま南の方の地区(成瀬台・金森など)をモデルにして、グループ化を具体的に進めています。

市民病院は後方支援病院として心強い存在です。在宅で容態が急変して入院が必要になったとき、ベッドの確保ができていくかどうかは大事で、日ごろの連携が試されます。市民病院にもぜひこの連携の輪に入っていただきたいと思っています。通院、入院などが

市民病院は開業医からの

紹介の患者さんを増やしたいとお考えです。私自身は紹介する率が高く、大変助かっていますが、(紹介率を高めるには)結局人間関係ですね。お互いの顔を知っているかどうかが決め手になると思います。勉強会などに積極的に出てもらって、Face to Faceの交流があれば、相談しやすいのではないのでしょうか。

## Profile

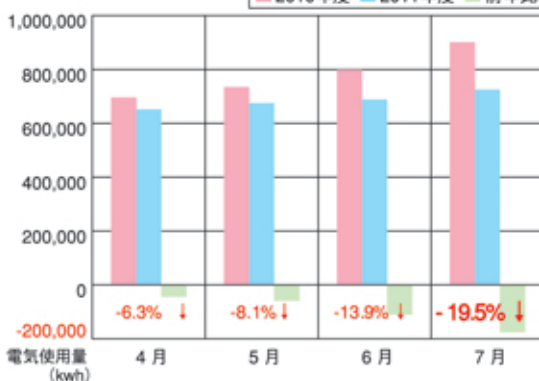
川村 益彦(かわむら ますひこ)

ことし4月から会長に就任。昭和53年慈恵医大卒。県立厚木病院の勤務医(循環器科)を経て、平成元年町田市本町田で川村クリニックを開業。勤務医、開業医の両方を比べると、と聞いたところ「どっちも大変ですよ」。

## がんばろう日本

### 電気使用量 前年度との比較 (4月~7月)

## 節電状況



当院では、4月より空調設備の調整、照明の間引きなど節電の取り組みを実施し、7月には大口需要家電力使用量の削減目標15%を上回る19.5%の節電を達成しました。今後も引き続き節電に努めてまいります。

### 町田市民病院中期経営計画(2012年度~2016年度)(案)への意見を募集します

- 募集期間：10月11日(火)~11月10日(木)
- 案の公表：町田市広報10月11日号に概要を掲載します。10月11日以降に、町田市民病院ホームページ・町田市ホームページに詳細を掲載するほか、町田市民病院等で資料を配布します。
- 意見等の提出方法：郵送、ファクス、又は電子メール、町田市民病院経営企画室ほか指定の窓口へ直接提出して下さい。

## 編集後記

ことしは「中秋の名月」が熱帯夜でした。春の「山笑う」に対して秋は「山粧う」というそうですが、紅葉も一様ではないでしょう。不順な天候に十分気をつけて下さい。